

予算事業 ID 000304

(事業名) 女性に対する暴力の根絶に向けた取組に必要な経費
(担当部局) 男女共同参画局

ー公開プロセスの評価結果ー

<取りまとめコメント>

① 成果指標に関して

・体制整備や周知・広報が施策推進に当たっての重要なターゲットとされていることから、体制整備や周知・広報に注目した KPI のあり方についても検討ありたい。

② 事業の改善に関して

・多様なニーズに対応しようとして複数の手段を組み合わせで組み立てられている点は評価できるが、外部から客観的に検証しづらく、縦割感も強い。国民の側から見て 1 つの施策に見えた方がよい。

<外部有識者のコメント>

①成果目標に関して（ex. アウトカムが適切に設定されているか、事業の進捗や効果について成果目標に照らした点検及び改善が行われているか 等）

- ・「ワンストップ支援センター等で 24 時間 365 日相談対応可能な都道府県数」「SNS 相談を実施している実働稼働時間」「実稼働日数」はすでに充足済みであるなら、別の KPI を検討すべき。
- ・「交付金を活用した地方公共団体数」は国側で目標値を設定することはできないのではないか。
- ・政府広報等での露出件数、ポスターの発行枚数、HP のアクセス件数なども指標の候補となりそうである。
- ・アウトプットから長期アウトカムまでも経路をわかりやすく表現するという点には同意する。
- ・被害者が必要なときに相談できるためには、体制の整備、周知・広報による認知が必要だと思うので、こうした事項もアウトカムに入れていくとよいのではないか。
- ・アウトプットが漠然としていて、アウトカムにどうつながっていくのか不明なので、アウトカムを踏まえて、そこにつながる活動を具体的に記載していくのがよいように思う。
- ・一般調査で認知度を計測する必要があると思います。
- ・ご質問をした相談自体の質的な分類がいたのではと思いました。急を要する対応、物理で人が対応したほうがいいケース、窓口があって話せたことで一定の効果が得られたとするケース、を分類した統計をしていただきたいです。
- ・成果目標は多くが定性的な表現にとどまり、「進捗や効果が十分か否か」を外部から客観的に判断しづらい構造になっている点は課題だと感じる。短期アウトカムとしての「相談件数」は把握されている一方で、その後の支援につながった割合など、中長期的な成果の「質」を測る指標が必要ではないか。

②事業の改善に関して（ex. 同じ又はより少ない予算でより多くの成果を引き出す工夫はないか 等）

- ・現状のロジックモデルは個々の事業が独立してしまっており、縦割感が強い。なるべく簡素にし、国民の側から見て、1つの施策としてつながっているように見えた方がよいと思われる。
- ・指標について相談件数や連携支援の件数など、実質的な事業の中身が分かるようにした方がよいのではないか。本事業においてはこうした体制整備が事業の重要なアウトカムとなっているように思われる。
- ・①で書いたとおり、体制整備、周知といったところが重要と思われるので、予算を具体的に、どのように割り振っていくのか、明確にするとよいのではないか。
- ・公共交通での周知ポスター、類似の周知に向けた活動。

- ・ 民間 SNS 上での広報はその分野に長けた広告代理店を募集してもよいと思いました。
- ・ CureTime は SNS ではなく、チャット相談でよいのではと思いました。10 代の人向けのデザインになっていないこともあり、サイトの改修もやっていただいた方がよいと思います。
- ・ 複数の支援手段（交付金、SNS 相談、コールセンターなど）を組み合わせで実施されており、ニーズの多様化に対応しようとする姿勢は評価できる。SNS 相談やコールセンターなど、既存施策の運用時間・コストに対する効果を比較分析し、費用対効果の高い手段へ重点配分する等の工夫も必要ではないか。

③その他

- ・ 若い方々を中心に性犯罪・性暴力の被害が多いと思われる。ここからいえば、例えば大学のハラスメント系の相談室などとの連携等も考えられそうである。
- ・ 簡単に役割を書き分けられないとは思いますが、本事業の役割と、医療、学校、警察、裁判所等の役割などを明確にして、本事業が受け持つフィールドをもう少し明確にした方がよいように思います
- ・ 一案としては、本事業は窓口と追跡調査を行う場所として定義し、社会問題の全体像を把握しつつ、各省庁の課題を明確化する場とあるべきではと思いました。